

## 目次

- 01 ハイクオリティーな歯科写真の基本原則 | 013**
  - デジタル写真撮影の重要性 —なぜ? いつ? 行うか | 014
  - 臨床写真とコミュニケーション | 016
    - 患者とのコミュニケーション | 017
    - インターディシプリナリープランニング | 018
    - 歯科技工士とのコミュニケーション | 019
    - 自己評価ツール | 023
  
- 02 デジタル歯科用写真の使用機材 | 025**
  - 基本的な技術的特性 | 026
    - カメラボディ | 030
    - マクロレンズ | 045
    - フラッシュユニット—光源 | 046
    - フラッシュパワー | 052
  - アクセサリー | 054
    - 口腔外用アクセサリー | 058
      - 偏光フィルター | 058
      - ディフューザー | 060
      - バウンサー | 060
    - ハンドリング | 062
      - 被写体とカメラの位置関係 | 063
      - フラッシュの方向 | 064
      - アームの角度 | 066
      - バウンサーの位置 | 066
    - 被写体の位置に対するフラッシュの位置と最終画像への影響 | 068

**03 シンプルに高品質な写真を撮影するための臨床プロトコル | 077****術前セッション | 079****顔全体のポートレート写真 | 080**

カメラのセッティング | 080

ライティングの特徴 | 081

背景(バックグラウンド) | 082

スタジオポートレート撮影 | 082

**撮影シーケンス(一連の撮影) | 093****口腔内写真 | 097**

術前の基本撮影シーケンスおよびカメラのセッティング | 097

**技工室での撮影—シャドウボックス | 110****術中写真の記録 | 118**

前歯部エリア | 118

臼歯部エリア | 121

**04 さまざまな特殊ケースに応じた撮影シーケンスとセッティング | 131****修復治療 | 132****矯正治療の撮影 | 137**

静的な矯正治療の画像記録 | 137

動的な矯正治療の画像記録 | 145

**歯周治療の画像記録 | 145****補綴治療 | 156****05 光の方向と質—臨床との関連性 | 167****EXAMPLE CASE | 176****06 トラブルシューティング | 195****被写界深度 | 196****露出 | 198**

- フラッシュの同調 | 200
- ポジショニングとフレーミング | 201
- 色のおかしい画像 | 202
- 黒い斑点(スポット) | 202
- 07 歯科におけるウルトラマクロ撮影 | 205  
Carlos Ayala Pazとの共著
- エクステンションチューブ | 209
- 利点 | 210
- 欠点 | 210
- リバーズ | 212
- 利点 | 216
- 欠点 | 216
- クロップファクターとは? | 218
- 08 DSD—デジタルスマイルデザイン | 221  
Christian Coachmanとの共著
- フェイシャリーガイドッドスマイルフレームを行うための8ステップ | 224
- STEP 1 : デジタルフェイスボウ, 正中線, および水平基準点 | 224
- STEP 2 : スマイルカーブ | 226
- STEP 3 : 歯間幅径の比率 | 226
- STEP 4 : 中切歯の幅径と長径の比率 | 228
- STEP 5 : 歯肉辺縁曲線 | 228
- STEP 6 : 歯間乳頭曲線 | 228
- STEP 7 : ドライウェットライン(頬舌的曲線) | 230
- STEP 8 : 歯列弓曲線 | 230
- 09 歯科写真撮影専用設計された装置 | 235
- スマートでコンパクトなデジタルカメラ—アイスペシャル C-III, 松風 | 236
- スマイルライトMDP—歯科撮影モバイル用 | 242